蓬門

蓬田村公民館報
「蓬　門」
第43号
発行所
青森県東津軽郡
蓬田村公民館
印刷所
蟹田印刷所

一九六五年度成人式

たくましく社会人としてワンステップをふむ九六名の若人のために

去る一月十五日蓬田小学校北代表に記念品を贈呈、成人代表挙委員長　和田喜太郎、平野産校舎において今年度の成人式を武井秋穂くんの力強い成人の心経研究所　坂本功両先生の記念挙行した。とばに続いて、武井村長、小野講演があり一同記念撮影し幕を開式のことば、修礼、公民館長県議のお祝いのことばがあり、閉じた。式辞、武井靖男、横山厚子、両田中幸子さんの謝辞、県公明選

成人のことば

成人代表　武井秋穂

私は、つい先日までは、成人の人間として固つていくのは、と言われても二十才になつたということを考えるこれからだということと、選挙権を得たということと位より考えませんでしたとここが新たなる私達のスタートなのだということを感じますが、こうして、関係者の皆様に成人式を開いていただくと、そういう意味でよく我々には無ちよつとあらたまつた気持になり限の可能性があると言われますが、過去や将来のことを考えな私達の中から、実業家がうまれい訳にはいきません。るかもしれないし、政治家が出我々は、二十年間という長い間又すばらしい夫の座につくかもし生きぬいてきたのですが、その間には、楽しいこと、苦しいこと、また幼児としての人生もあつたし、中学生としての人生もありました。しかし、我々の一生から見たら過去の二十年間は赤く溶けた鉄のようなもので、将来どのように固つていくかわかりません。今まで、いろんな事を見もし、聞いてきて、人生の第一歩というのは、おかしいのですが我々一人一人が、一個

れませんし、始終夫婦げんかをする妻の座につくかもしれません。このようにに我々は、若いのですから、可能性はいつぱいあるのですが実現はなかなか難しいと思います。我々は実現の現実にするために、おおいに人生を勉強し、微力なりとも、国のため、郷土のためにつくせればと思っています。

我々は、今日、責任と権利を与えられました。これは我々が大人になつた、ちかいとして与えられたものです。我々は、これを始めて与えられた日の気持をいつまでも忘れずに、持ち続けたいと思います。

感謝のことば

成人代表　田中幸子

本日ここにかくも盛大に成人の方々から頂いた有難い御教訓式を挙行され、私たち成人へのをしつかりと胸におさめ、本日門出をお祝い下されましたことから大人の仲間入りしたよろこは、誠に感謝に耐えないところびと共に大人になつた自覚と責しであります。私達は只今、来賓任を確立し期待される人間像に正しい批判とその形成に対し、情熱を傾け自己の人格完成に努力し国家社会の繁栄と進歩発展に協力するよう最善の努力をつくすことを此処にお誓いし感謝の辞と致します。

国民年金は六十五才でいくらもらえるか

戦後わが国民の寿命は著るしく伸びてきたといわれていますが人生僅か五十年といわれた時代からくらべれば事実、隔世の感があります。

現代の寿命は男子六十五才、女子七十才と云われています。将来はまだ〜伸びることでしようが、したがつて国民年金の老令年金は六十五才から支給がつ開始されるのだから、これでは男子は一銭ももらえず、女子は十二年間、女子は十四年間は、精々五、六年分しかもらえない平均して受けられることになつのではないかという疑問がありているわけです。二十才から寿命というのは、オギャーと生まれた赤ちやんが何年間生きられるという平均寿命のことです十五才から、男子は四二、〇〇〇円の十二年分、約五十万円、

もらえるかということについては六十五才の御老人が何年間生きられるかという平均寿命で判断しなければなりません。

六十五才の御老人は男子は一一、八九年、女子は一四、二四年の平均寿命ですから、平均して男子は七十七才まで、女子は七十九才まで生きられることになつています。

したがつて老令年金は男子でも十二年間、女子は十四年間は、ますが、これは間違つた見方で五十九才までの保険料を単純に合計すれば六三、〇〇〇円ですが、これだけ保険料を払えば六れるという平均寿命のことです十五才から、男子は四二、〇〇〇円の十二年分、約五十万円、女子は十四年分、約五十九万円のときに前納できるすれば二三、五四〇円ですみますから、僅か二四、〇〇〇円で、五十数万円の年金がもらえるという計算になるわけです。（民生係）

国民年金保険料は毎月集金人に納めましよう

最近保険料未納のため母子年金、障害年金、遺児年金等が納められないで非常に困つている人達が出て来ております。自分の国民年金手帳をみて保険料の未納がある方は至急納めて下さい。

短編小説　燃愛の右角（燃ゆる進学）

越田由一作

見舞に来ないなんて……あの人だつたら絶対にそんな事ないと私の友達時子が言つた。

たつて知らせないんだから来るはずがないと私は答えた。でもそう答えなかつたから病院生活の私には見舞に来る友達だけが唯一の慰めであると思うと惜らなく淋しくなつて一ケ月半も合わない代志さんを晩秋の上ふと想い浮べても、いつも唯一枚の写真の代志さんになつちやう。時子は早く知らせるべきだと言つてくれるのですが。

好きなえんげきもベットの上でほとてもオドル事も出来そうにもないが　時々ベットのそばで手だけは少しだけして見るが体が疲れてしまつてとてもとても気迫もうすらぎ少しくて……全快したら思いきり踊ろうと思つて居る。

代志さんは今何か書いている？卒業の年とは忙がしいでしようれ。私か散歩できる様になるのも近いと思うんだけれど、そしたらーいつか春の頃だつたねで空気が澄んで、とても気持の良い朝、よく登校の途中逢いましたれ、あの頃あの辺を考え一度散歩しません？

心がすつきりととおるほどの朝の道を歩して見たいの。

病院生活つて淋しさか越えると空虚な感じで部屋かいつぱいになつてしまうんだな

なんだけにその後一ケ月の空漠とした時間が苦痛だつた。

その後の代志の世界は空白のページに消えていつた。

彼のノートは数えきれない詩で埋められ書きかけの小説は置き忘れられた机の上の鉛筆の様に投げ捨てられた。

ファイトに欠けてゆく毎日の授業、自分を踏みにじりたい様な劣等感、虚無的な態度。

代志は自分にあきれていた。

家庭的な苦しさで進学を無になつた彼は（坂本先生に向つて）

「先生、進学がなんです。生活がなんです。まして毎日の授業なんてどこに価値があるのです才能が努力が一握りの砂ほどにもかえりみられないで抹殺される現実にそれらのどこに価値があるのです？利邦的な享楽、それのみが五十年は終るのですばか〜しいじやありませんか……僕の生活は先生のありきたりの、まるで観像の様に固められた言葉だけで変えることが出来たら、とつくに昔に変つています。

いやこんなにならないで……。

そう先生一番のお気に入りの小野の様な点取虫のでしやばりになつたでしよう。

でも少なくとも僕を取りまいているものにはそんなたやすいロマン的要素はどこにだつてないのです。」「わかる。わかるよ代志君。君の思いつめた希望が氷の様にくだけていた現実に対する反抗は。しかしそれだけでは君は救われない。

救われない自分を悲しいと思わないか？」「そうです。救われないのです。

現実の世界が事実救われないでいるのではありませんか。

水爆禁止をどれだけの多くの人間が叫んだところで小さな一人の人間が大平洋に向かつて叫ぶほどにも何んの反響が、効果がないのではないか。資力です。

権力です。救われつこない。

だから享楽は抹殺されてゆく者の断末まなんです。

そして、朝露の様に誰にも気づかずままにそれと切れて、それで終りです。それだけです。」

「君……」「君……」

代志君、現実つてそれほど悲し過ぎるのだろうか。

今日はもう何も言うまい、唯そこ迄徹した君の現実思索から、もう一段したに入つて行くことが必要に思う。

何日かかつてもいい、まあ考えて見るんだな、何かを見つける迄」と言つてその日はわかれたがそれからと思いながらの彼一方的の彼の心臓の表を包んでいる別の物があつた。

それはクラス内の席次が三、四番と下がつた事のない自分が、そして文芸部の幹部である自分が何等の抵抗なしに、ただ漂然と実社会に流れてゆくのを八重子が見たら、友達が見たら、世間の人が見たら、どう思うだろう。と思いながらしだいに席次が下つた、二学期終了式終りの三年A組の教室だつた。……

次号に続く

みちのくの塔建立 除幕式にのぞみ

蓬田村遺族会 会長 八戸三郎

今度沖縄県戦跡慰霊巡拝のためみちのくの塔期成同盟会、県遺族連合会、東奥日報社事業局観光部主催となり毎年二月中に参列する事に決定致しましたから参考までにその概要を記載することに致しました。

御承知の通り沖縄の地域は太平洋と東支那海を境にして、九州と台湾との間に点在する沖縄、宮古、八重山の三郡島およびこれらの属島大小六十余の島々からなつております。

沖縄総面積は二三八、八二四平方粁で人口八八万人、気候は長い暑気と短い寒気の二季節からなつております。

どんな産業が盛んであるかなんといつても糖業とパイン産業があげられます。

輸出総額の七〇%が砂糖とパインかんづめで輸出産業のトップに立つています。

このように糖業が急速に発達したのは日本政府の特恵措置があつたことと関税が免除されているためです。

将来沖縄で十五万トンの砂糖をつくる事になつています。

一方パイナップルは糖業に次ぐ基幹産業になつており、戦後のニューフェースで分密糖に次いで第二位をしめる輸出のホープであります。

しかし歴史が浅いだけに問題点が多いようです。

このように急速な発展をみせた産業は沖縄において類がないといわれます。

原因は糖業と同様日本政府の特恵措置があつたからです。

沖縄の名所地と戦跡めぐりについて、那覇市今次大戦で全く灰燼に期したが戦後めざましい発展をみせ、人口二四万を数え沖縄の首都として名実ともに、政治、経済、文化の中心地です。

守礼門、今から四百年前の創建と伝えられ古代琉球建築文化の代表的なものとして国宝に指定されている。

また守礼之那、沖縄のシンボルとして高く評価されております首里城、琉球の王城で東西二二五間、南北一五〇間、面積一九、〇〇〇坪の広大な城廓であつた、琉球第一の大建築である。

首里博物館、沖縄は古くから日本、中国南方諸国などの文化を吸収して巧みに独自のすぐれた文化を築きあげてきました。

戦前の国宝でした。

琉球政府、米国は戦後、沖縄、宮古、八重山、の各郡島別に設置されていた、郡島政府を統合し、一九五二年四月全琉球列島の行政機関として、琉球政府を波之上宮、那覇港、口に近い珊瑚礁の上に建てられている沖縄唯一の官弊小社である。

崇之寺、今から約四百六十余年前に創立され、歴代王崇廟であります。

次は戦跡めぐり、白梅之塔、旧沖縄県立第二高等女学校長、稲福全栄外職員、生徒七十四名祀つてある。

特志看護婦として最後まで近くの病院壕で傷病兵をいたわり遂に将兵と共に全員自決して果てた毎年六月二十二日自決の日を記念し塔前で例祭が行なわれる。

バクナー中将戦死の地、沖縄戦における米軍の死者は一二、五〇〇人これは日本軍との戦闘で米軍がうけた最大の犠牲であるという。

時の米陸軍沖縄方面軍司令官、バクナー中将が戦死したこともそれを裏書するようなできごとであり、また日本軍司令官、牛島中将も戦死した。

こんな小さな島で両司令官が戦死する、それほど戦いがはげしかつたのである。

一九四五年六月十八日午後一時バクナー司令官はこの南部一帯が見わたせる小高い丘の上で、陣頭指揮中日本軍の砲弾をうけて戦死した。

姫百合の塔、沖縄県立第一高等女学校並びに沖縄師範学校女子部の生徒一四三人、職員一五人のみたまを合祀した慰霊塔ですその外沖縄における、慰霊塔建立の一般的状況現在沖縄本島内に大小約百八十余の塔碑が建立されているが、これは戦後各地に散在していた遺骨をその部落の方々夫々一ケ所に蒐集して供養したものである。

那覇には中央納骨所約一万八千柱のみ霊を祭つている。

各道府県の慰霊塔碑の建立状況

秋田県…千秋の塔、愛媛県…愛媛の塔、石川県…黒百合の塔、群馬県…群馬の塔、熊本県…火の国之塔、和歌山県…紀乃国之塔、北海道…北霊の塔、山梨県慰霊塔、高知県…慰霊塔、愛知県…愛国知祖の塔、大分県…仮英霊塔、長野県…信野の塔、京都府…京都の塔、兵庫県…兵庫の塔、青森県…みちのくの塔現在茨城、滋賀、山形、鹿児島の各県は建立計画中である。

次は沖縄の方言をいくつかひろつてみました。

いらつしやいませ…メンソーレー、買う…コーユン、安い…ヤツサン、高い…タカサン、貴方…ウンジュ、私…ワン、有難うございます…ニフエーテービル。

沖縄戦跡の慰霊巡拝観光者の参考になれば幸です。

☆ 冬山の遭難事故を防ぎましょう ☆

登山ブーム、スキーブームにのつて冬山を目ざす若者たちが近年めつきり多くなつているがこれに伴つて冬山遭難事故も年増えています。

事故の原因についてはいろいろ批判され話題にもなつているが山をあまく見て無謀な登山が最も大きな原因となつているように思われる。

冬山の登山には綿密な事前調査完全な装備、沈着な行動、適切なリーダーなど整われていることが事故防止の不可決な条件であると思います。

それで冬山に登るときには、次のことを必ず守つて事故のないように努めて下さい。

(一) 自分の技術、体力に応じた計画をたてましょう

(二) 単独行動は絶対やめ、リーダーの指示をよくまもりましょう

(三) 用具、携行品は完全に準備しましょう

(四) 一晩位雪穴に露営できるだけの準備が必要です

(五) 万一遭難したときは、安全場所に雪穴を堀り目印をつけて救助隊を待ちましょう

(六) 山の気象コース、危険地帯などよく調べましょう

(七) 事故が発生したときは、グループだけで捜すことなく早く警察に知らせましょう

(八) 行先、日程、帰宅時間など明確にして出かけましょう

無事に帰宅して、はじめて冬山登山は終りになることを心に入れて油断のないように努めましょう

生活改善とは

瀬辺地4HC 越田由一

※「生活改善」ということはず、貯金にまわして乳幼児の健康状態が悪いということは生活の改善ではないと思います。

お金のかかるように思われて、「生活改善は誰でもしたいが、お金がかかるから出来ない」とこんなことをいう人がある。

それではお金のかからない「結婚の合理化」がなぜ出来ないのだろうか。

まだまだ農村では「みてくれ根生」や「あきらめ根生」「ぬけみ、どんな小さな問題でもしんけんに考え実行する事において台所、食生活等の改善が出来るのではないでしょうか。

私はよく帰人の方や、生活改善の普及員と話しますが、生活とは、いや私は生活の改善は「くか暮して行けるんだから」とあきらめるから進歩がないので…

※ 今日の暮しが昨日の暮しよりももつと人間らしいくらしあわせを目標において日々くらしと一ッ一ッ本気で取りくあらゆる面で良くなつていること、即ち能率的に仕事が片づき衛生的に過せ、病気にかからないようにし、物をむだにせず生かして使い日日のくらしが少しでも豊かに快適にしていくことが生活改善であると思います。

※ ある部落では台所改善をするため玉子貯金をした事はよいのですが、玉子一つさえもたべないかと思います。

赤十字社員 増強運動に御協力を

赤十字社員となるには !!

赤十字には男も女も老も若きも誰でも参加して協力することが出来る。

それは心ある人たちにすすんで赤十字社員になつて貰うことであります。

日本赤十字社は一定の社費を納める社員によつて組織された、特殊な法人で一切の社業はその社員組織によつて推進されています。

個人はもとより団体、会社なども法人として社員になれるしくみになつています。

社員は年額百円以上の社費を納めなければならないが、多額の社費を納めたり持に功労のあつた場合には、特別社員の称号や有功章がおくられる。

特別社員の標準は、年額参百円以上の社費を十年間継続して納めるか、あるいは同額を一時に前納した社員であることです。

全戸こぞつて赤十字社員に !!

社費として毎年百円以上納める

特別社員 一時または十回に分納する

イ、銀色特別社員 参千円以上

ロ、金色特別社員 壹万円以上

有功章社員 一時または数回に分納する

イ、銀色有功章社員 五万円以上

ロ、金色有功章社員 拾万円以上

伸びゆく赤十字のためにみなさんのご協力をお願い致します。

(蓬田村日赤分区)

「赤十字の旗」

赤十字の旗は中立のしるしで戦場でもこれが立つていれば攻撃してはならないことになつている。

赤十字の旗は一八六三年十月、十六ケ国の代表が赤十字の設立を決議したときに、赤十字の創立者アンリーデュナンの祖国スイスの国旗赤地に白十字に敬意を表しこれを逆にした白地に赤十字をこの運動の象徴ことを決議したものです。

また赤十字の規格は正方形五つをもつて構成したものが正式とされているが条約ではどんな形でも遠くから識別できるように白地に赤十字がかいてあるものは認めることになつている。

消防出ぞめ式実施さる

二月九日の初午の日、午前七時各分団の半鐘は打鐘されて消防団員は雪の中各家庭の火たきの方々夫々一ケ所に蒐集して供養したものである。

那覇には中央納骨所約一万八千柱のみ霊を祭つている。

各道府県の慰霊塔碑の建立状況

秋田県…千秋の塔、愛媛県…愛媛の塔、石川県…黒百合の塔、群馬県…群馬の塔、熊本県…火の国之塔、和歌山県…紀乃国之塔、北海道…北霊の塔、山梨県慰霊塔、高知県…慰霊塔、愛知県…愛国知祖の塔、大分県…仮英霊塔、長野県…信野の塔、京都府…京都の塔、兵庫県…兵庫の塔、青森県…みちのくの塔現在茨城、滋賀、山形、鹿児島の各県は建立計画中である。

次は沖縄の方言をいくつかひろつてみました。

いらつしやいませ…メンソーレー、買う…コーユン、安い…ヤツサン、高い…タカサン、貴方…ウンジュ、私…ワン、有難うございます…ニフエーテービル。

沖縄戦跡の慰霊巡拝観光者の参考になれば幸です。

蓬田村納税貯蓄組合 臨時総会開く

蓬田村納税貯蓄組合(会長工藤与三郎氏)は蓬田部落十納税組合の代表者をもつて構成し今後一層の活躍を期待している役員は次のとおり

会長 工藤与三郎
副会長 佐井豊次郎
〃 張間喜三郎
理事 工藤留太郎
〃 坂本儀一郎
〃 工藤茂治
〃 森源一郎
〃 工藤永助
〃 福田繁直
〃 木村繁
〃 越田源治
監事 佐井久治
〃 青木豊治
〃 高田仁吉

村はこの充実した連合会に対し役場前に集合、人員点検、服装い、消防団員の協力をお願いし検査を行い観閲、分列行進を行たいとあいさつがあり消防出ぞめ式を終了した。

この欄は県の広報資料から転載したものです

計画的農家経営

最近わが国農業は、従来の伝統的農家経営から脱却し、生産性の向上と所得の増大を目指し近代農業を確立するための基礎となる経営の実態を、十分、分析検討することは、将来の営農改善を成功させるための条件として、大切なことです。

そのための一方法として、農家簿記を記帳しその結果を利用されることをおすすめします。

現在県内における農家簿記の記帳は、東北各県に比較しても、非常に遅れております。

農家の皆さんが、根気良く記帳され、それを利用して新しい時代に生きる農業の喜びと幸せをつかまれるよう念願します。

その結果、経営規模の拡大、農地の集団化、家畜の導入あるいは機械化とが急速に行われ技術経営両面において大きな進歩がみられました。

しかしこの中で、忘れられてはいるのが農家経営の計画化です